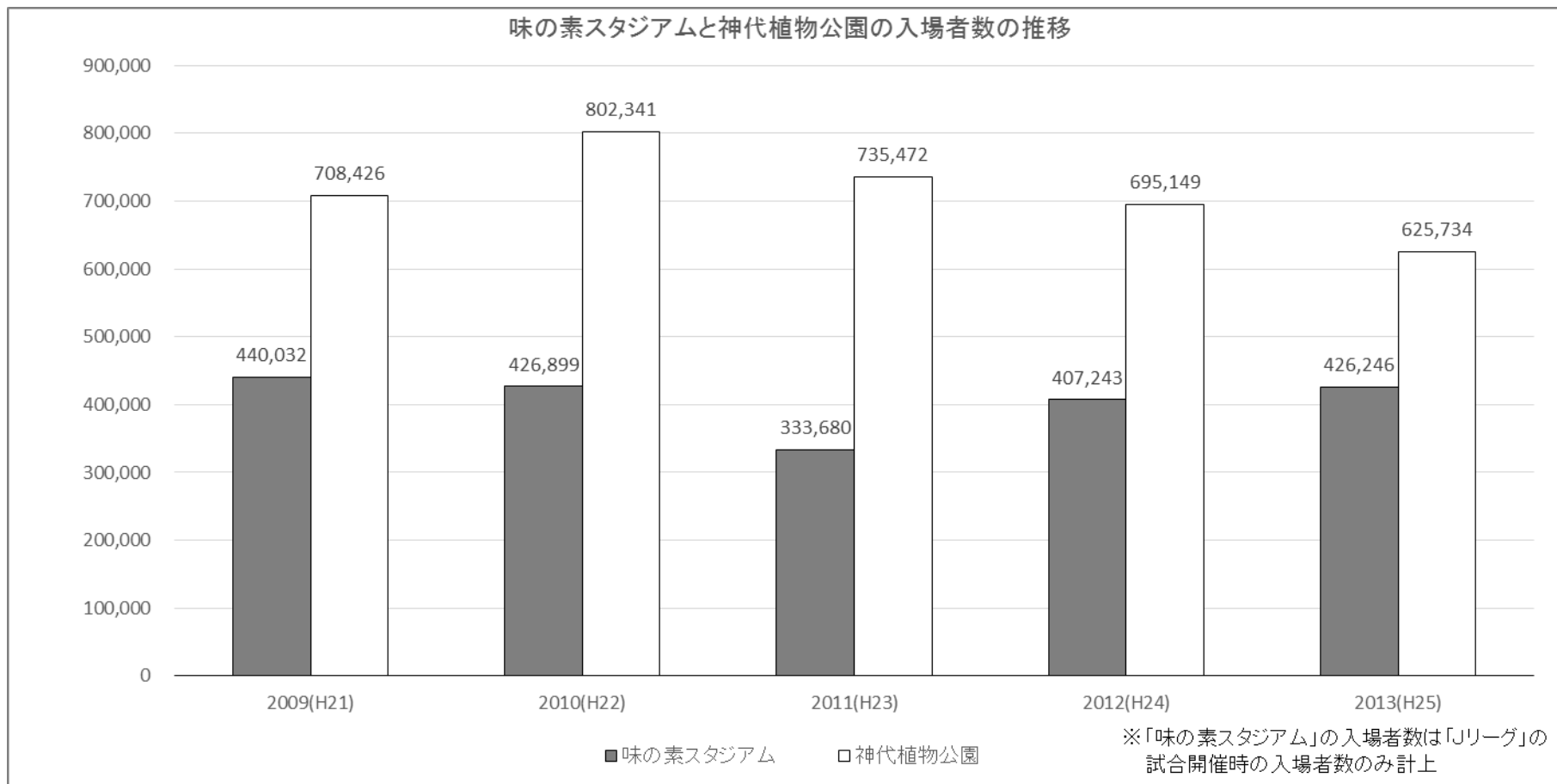


産業

# 19. 観光客数の推移(2009～2013年)

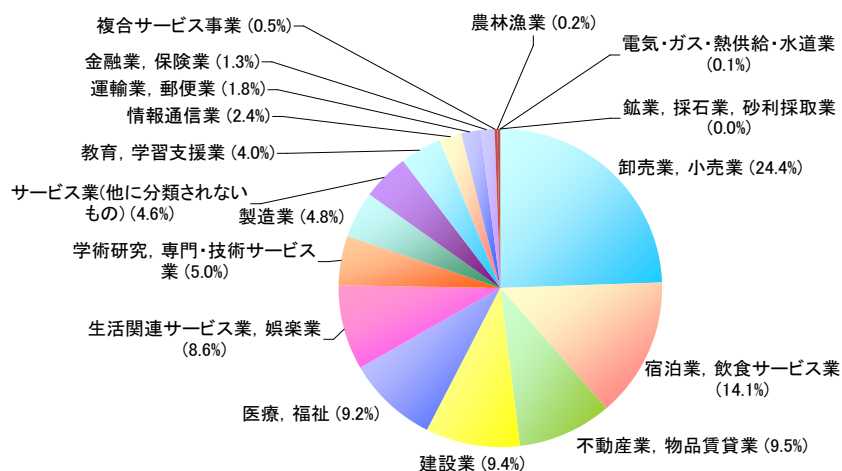


(出典)調布市「調布市統計書平成25年版」、公益社団法人日本プロサッカーリーグ「J. League Data Site」

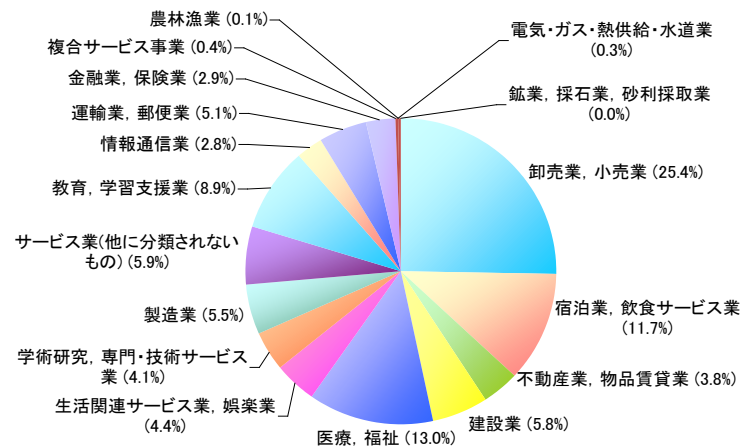
- 味の素スタジアムの入場者数は、FC東京が「J2」に降格した2011年のみ年間40万人を割っているが、近年は増加傾向にあります。
- 神代植物公園の入場者数は、2010年に年間80万人を上回って以降、近年は減少傾向にあります。

# 20. 産業分類別事業所数・事業者数(2012年)

## ・事業所数



## ・従業者数



	事業所数	従業者数(人)
卸売業、小売業	1,181	13,708
宿泊業、飲食サービス業	683	6,309
不動産業、物品賃貸業	459	2,066
建設業	454	3,161
医療、福祉	444	7,004
生活関連サービス業、娯楽業	417	2,405
学術研究、専門・技術サービス業	242	2,208
製造業	233	2,950
サービス業(他に分類されないもの)	223	3,207

	事業所数	従業者数(人)
教育、学習支援業	194	4,803
情報通信業	115	1,531
運輸業、郵便業	89	2,739
金融業、保険業	64	1,590
複合サービス事業	22	191
農林漁業	8	37
電気・ガス・熱供給・水道業	3	136
鉱業、採石業、砂利採取業	-	-

(出典) 調布市まちづくりデータブック

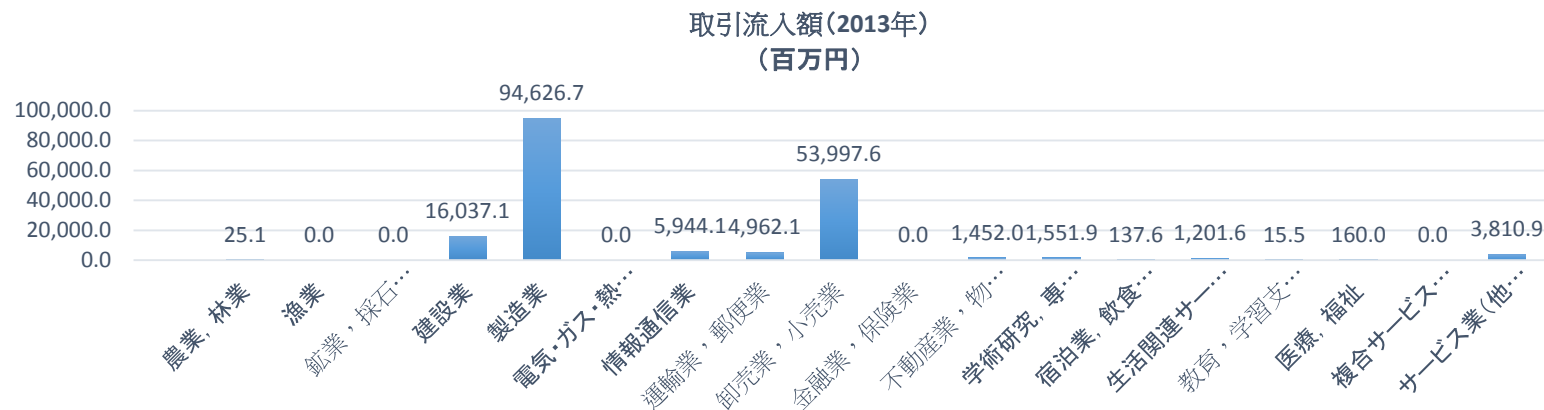
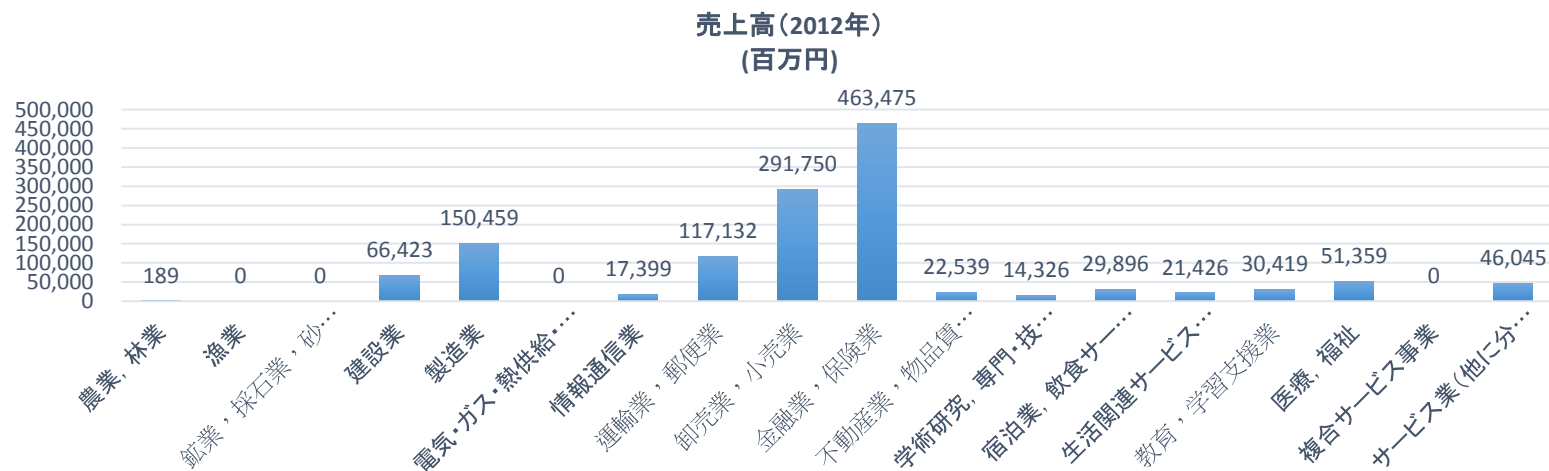
## 事業所数

・構成割合は卸売・小売業（24.4%）が最も高く、次いで、宿泊業、飲食サービス業（14.1%）、不動産業、物品賃貸業（9.5%）の順となっている。

## 従業者数

・構成割合は、事業所数と同様、卸売・小売業（25.4%）が最も高いが、次いで、医療・福祉（13.0%）が2位となっている。

# 21. 産業分類別売上高(2012年), 取引流入額(2013年)



(出典) 地域経済分析システム(RESAS)

## 売上高

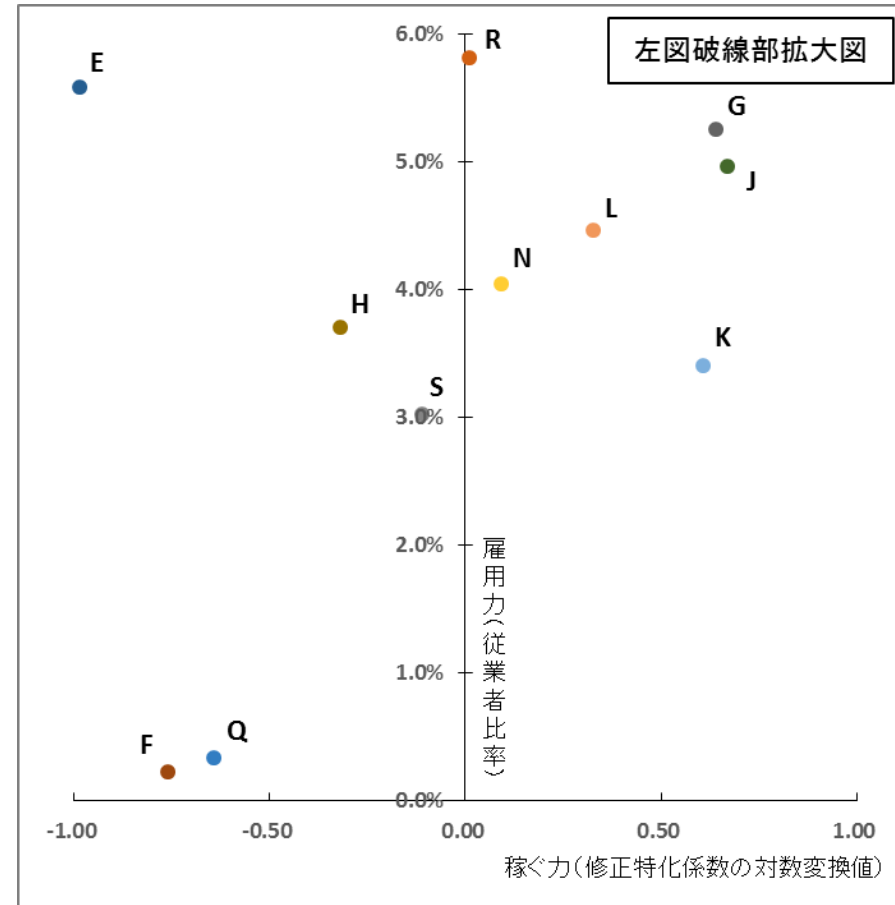
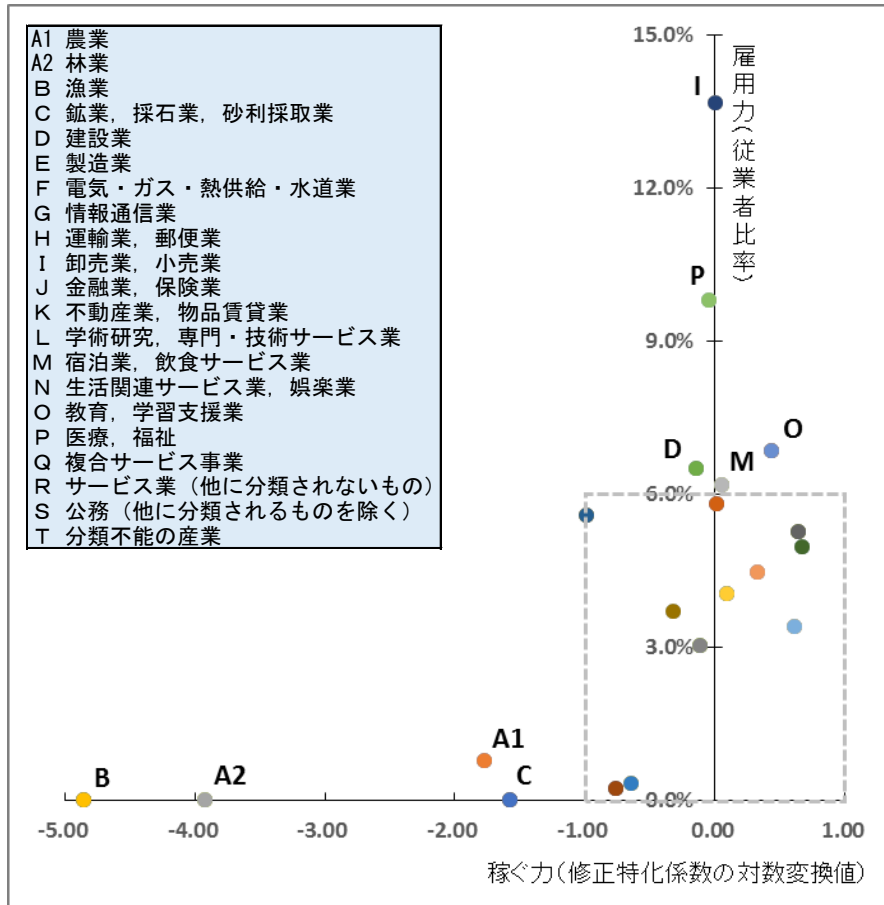
・売上高, 第1位の産業は金融業・保険業(463,475百万円), 2位は卸売業・小売業(291,750百万円), 3位は製造業(150,459百万円)となっている。

## 取引流入額

・資金を獲得している(域外収支がプラス)産業, 第1位は製造業(94,624百万円), 2位は卸売業・小売業(53,997百万円), 3位は建設業(16,037百万円)となっている。

※ 域外収支 = (地域外に販売した金額) - (地域外から仕入れた金額)

# 22. 稼ぐ力・雇用力(2010年)



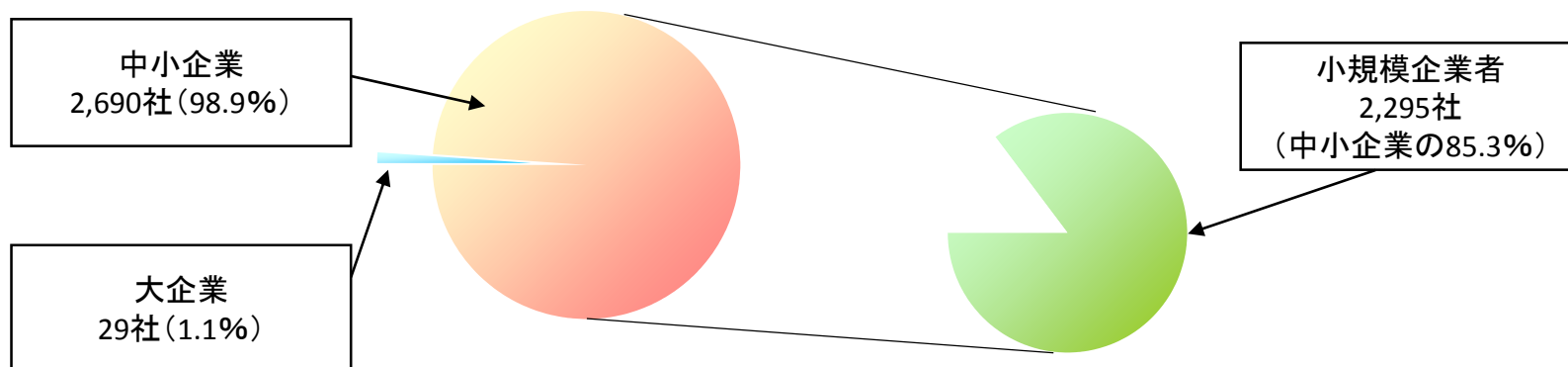
(出典)総務省「国勢調査」

- ・ 調布市内の産業のうち、「雇用力」, 「稼ぐ力」の両面を見たときに最も発達している産業は「卸売業, 小売業」です。
- ・ 一方, 最も発達していない産業は「林業」です。特に, 「林業」の稼ぐ力は「市内最小」となっています。
- ・ 「雇用力」が最も高い産業は「卸売業, 小売業」で, 最も低い産業は「林業」, 「漁業」となっています。
- ・ 「稼ぐ力」が最も高い産業は「金融業, 保険業」で, 最も低い産業は「漁業」となっています。

注) 「稼ぐ力」とは修正特化係数が1より大きい産業が地域の外から稼いでいる産業(基盤産業)の目安である。各自治体における産業従事者比率を全国の産業従事者比率で割り、輸出入額で調整したものの。

# 23. 市内企業のうち中小企業が占める割合

## ・ 中小企業率



### ◆ 中小企業とは

- ・ 中小企業基本法第 2 条によると、「中小企業」、「小規模企業者」はおおむね下記に該当する会社や個人を指します。
- ・ なお、上記「従業員数でみる、市内企業のうち中小企業が占める割合」は、下記のうち「常時雇用する従業員」の数に着目して中小企業の割合を算出したものです。

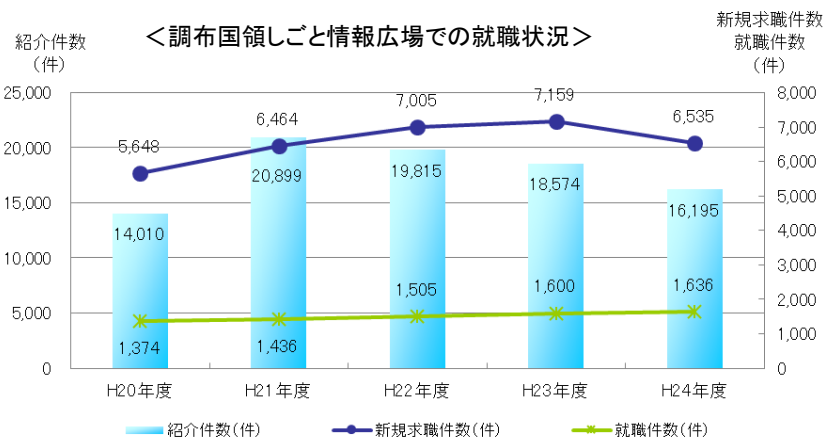
業種	中小企業		
	(下記のいずれかを満たす)		うち小規模事業者
	資本金	常時雇用する従業員	常時雇用する従業員
①製造業・建設業・運輸業・ その他の業種(②～④を除く)	3億円以下	300人以下	20人以下
②卸売業	1億円以下	100人以下	5人以下
③サービス業	5,000万円以下	100人以下	5人以下
④小売業	5,000万円以下	50人以下	5人以下

(出典) 調布市まちづくりデータブック2013

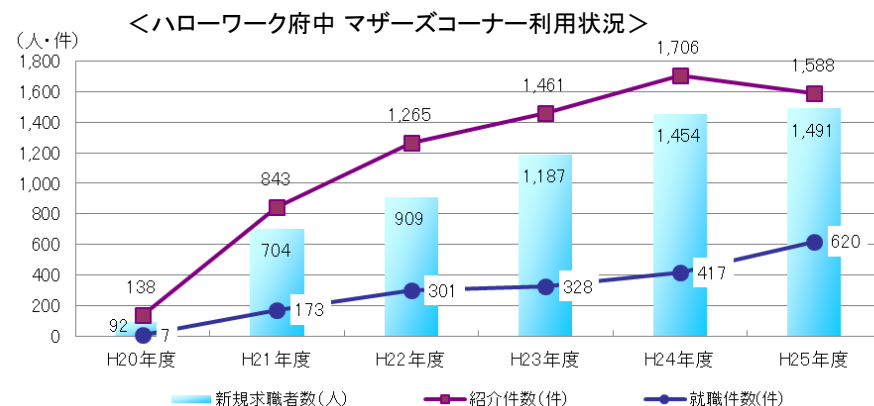
・ 市内の企業の約99%が中小企業、そのうちの約85% (全体の約84%) が小規模企業者です。

# 24. 調布市内の就労・創業支援の状況

## 雇用・就労に向けた支援

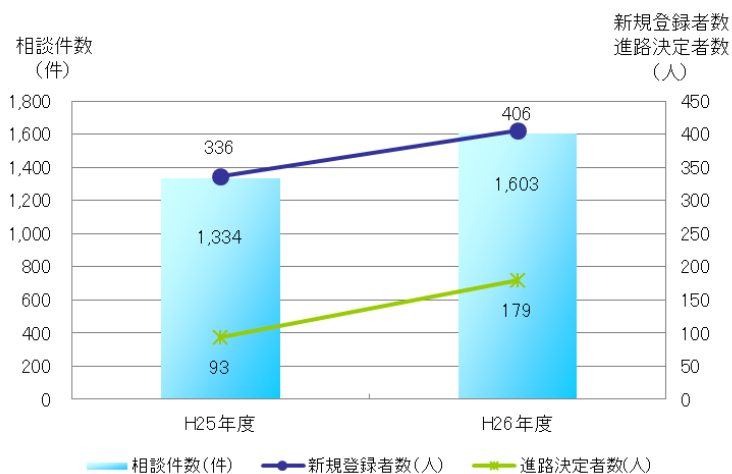


※調布国領しごと情報広場での求人の受付は平成24年12月で終了



※マザーズコーナーは平成21年1月開設、平成23年10月拡充  
 ※マザーズコーナーでの求人の受付は実施していない

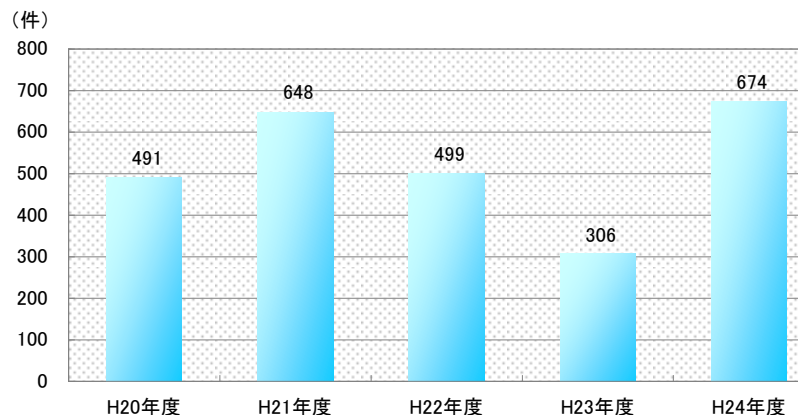
## ＜若者サポートステーション利用状況＞



※若者サポートステーションは平成25年7月1日開設

## 創業支援の状況

### 産業労働支援センターでの創業等相談件数



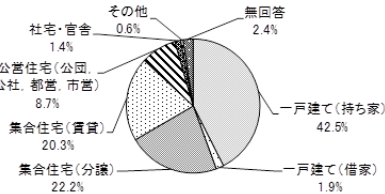
くらし



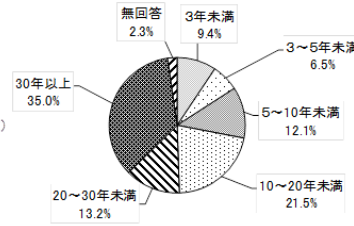
# 25. 調布市における“定住”に関する状況

## 市民の居住の状況

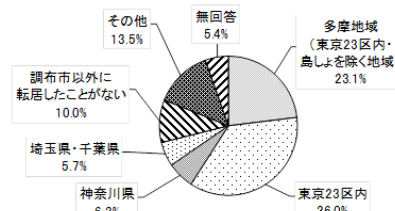
<居住する住居形態>



<居住年数>



<以前の居住地域>



出展：調布市民意識調査報告書（平成26年度版）

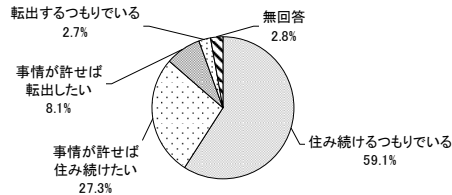
<調布市と近隣各市の「住みやすさ」「定住志向」の比較>

	調布市	世田谷区	三鷹市	武蔵野市	府中市	狛江市	多摩市	稲城市
住みやすさ	90.0% 住みよい37.6% どちらかといえば住みよい52.4	83.4% 非常に住みやすい37.7% やや住みやすい45.7%	(設問なし)	(設問なし)	94.0% 住みよい58.5% どちらかといえば住みよい35.5%	57.7% とても住みよい14.6% まあまあ住みよい43.1%	91.2% 住みよい42.9% どちらかといえば住みよい48.4%	90.5% 住みやすい45.0% どちらかといえば住みやすい45.5%
定住志向	86.4% 住み続けるつもりでいる59.1% 事情が許せば住み続けたい27.3%	80.5% 住みたいと思う80.5%	90.7% これからも住み続けたい63.5% 当分住み続けたい27.2%	81.3% 住み続けたい81.3%	93.9% ずっと住むつもり51.2% 当分は住むつもり42.7%	80.7% ずっと住みたい42.2% 当分は住むつもり38.5%	82.5% ずっと住み続けたい41.9% 当分は住み続けたい40.6%	80.2% ずっと住み続けたい45.0% 当分は住み続けたい35.2%
調査名・調査時期	調布市民意識調査 平成26年	世田谷区民意識調査2014 平成26年	第四次三鷹市基本計画策定に向けた市民満足度・意向調査 平成23年	武蔵野市民意識調査 平成26年	府中市市政世論調査 平成26年	狛江市民意識調査 平成24年	多摩市政世論調査 平成25年	市民意識調査 平成26年

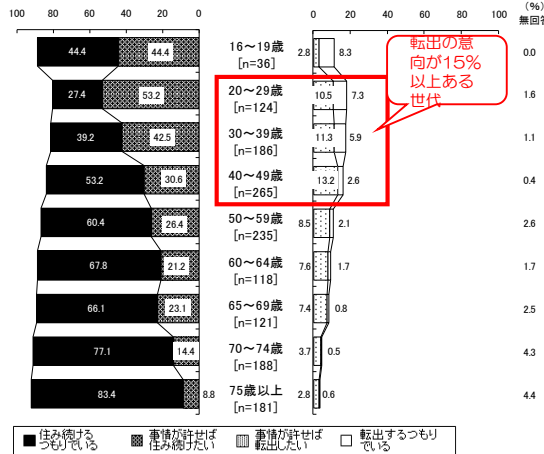
## 市民の定住意向

問)あなたは、今後も調布市に住み続けたいと思いませんか。

出展：調布市民意識調査報告書（平成26年度版）



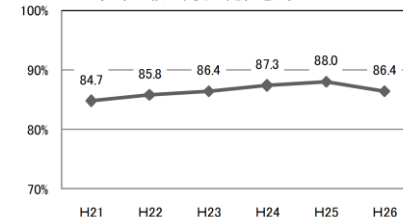
<年齢層別：定住意向>



<年齢層別：主な転出したい理由>

	20~29歳	30~39歳	40~49歳
第1位	仕事の都合で (25.0%)	家賃や地価が高いから (21.3%)	日常の買い物が不便だから (50.0%)
第2位	通勤・通学など交通が不便だから (20.8%)	仕事の都合で (19.1%)	・通勤・通学など交通が不便だから (46.4%) ・道路などの都市基盤が整っていないから (46.4%)

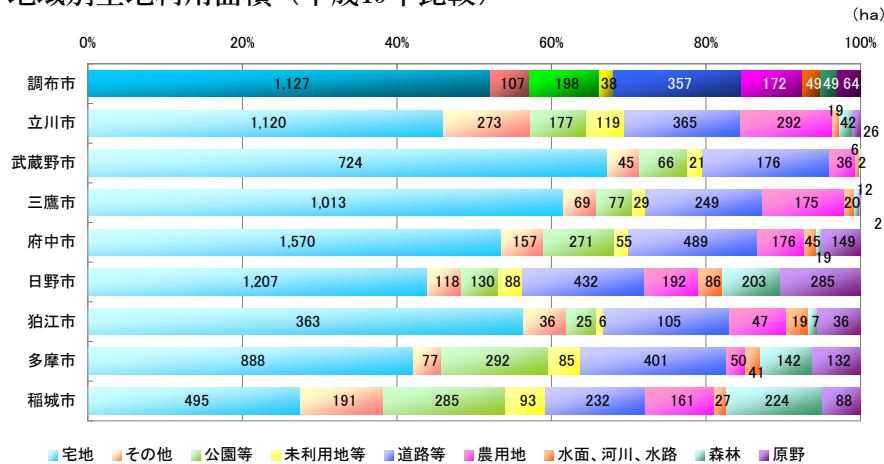
<経年比較：今後の定住意向>



※ 調布市に住み続けたい人(「住み続けるつもりでいる」+「事情が許せば住み続けたい」)の割合

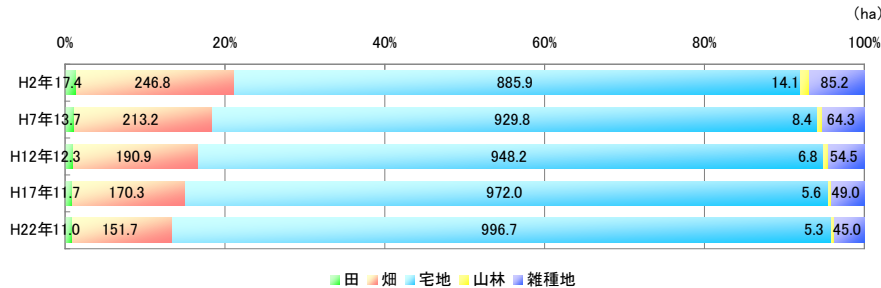
# 26. 土地利用・用途地域別面積

## ・地域別土地利用面積（平成19年比較）



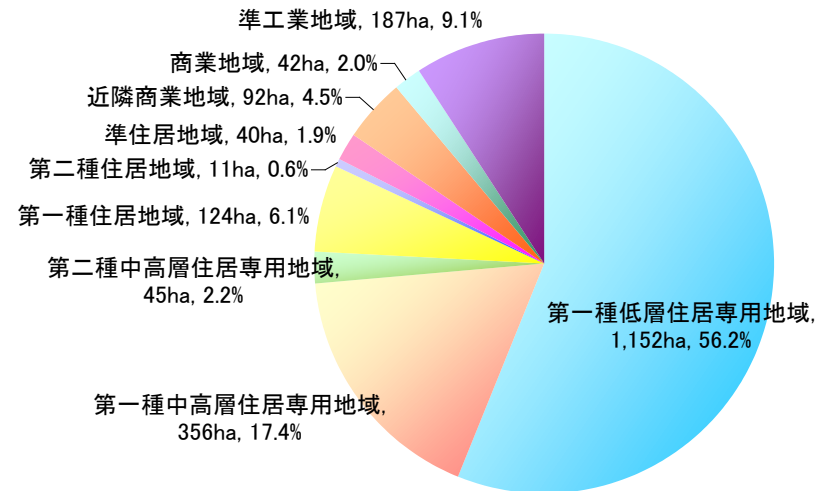
・市域内の約52%を宅地が占めており、次いで約17%を道路等が占めています。

## ・地目別土地面積



・平成22年までの20年間で、約100haが新たな宅地となっています。

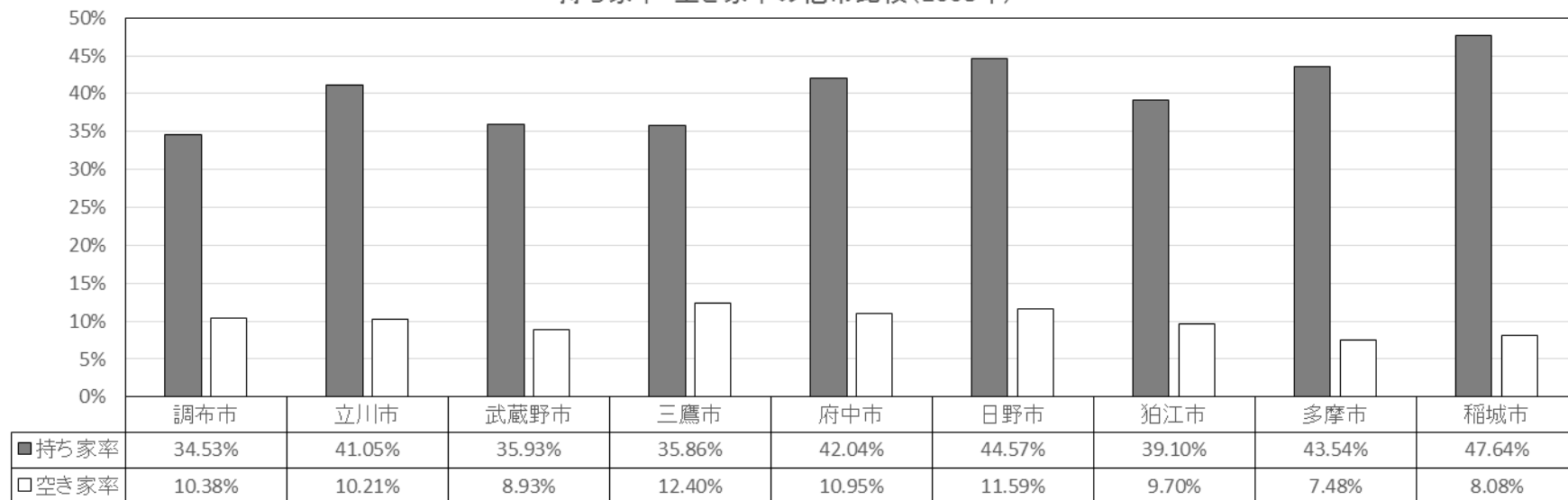
## ・用途地域別面積



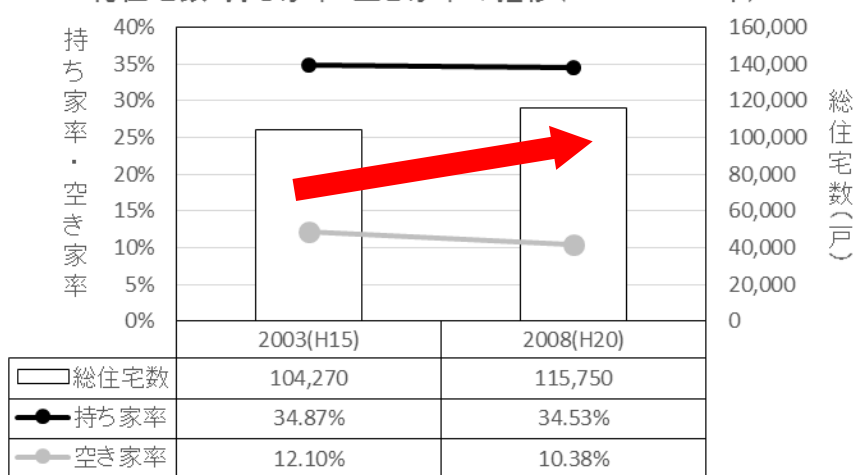
・市域内の約56%が第一種低層住居専用地域に指定され、建築物の高さが10mに規制されています。

# 27. 持ち家率・空き家率

持ち家率・空き家率の他市比較(2008年)



総住宅数・持ち家率・空き家率の推移(2003~2008年)



- 調布市の持ち家率は、近隣9自治体の中で最も低くなっており、空き家率は4番目に高くなっています。
- 総住宅数・持ち家率・空き家率の推移では、総住宅数は増加傾向にありますが、持ち家率は横ばい、空き家率は低下傾向にあります。

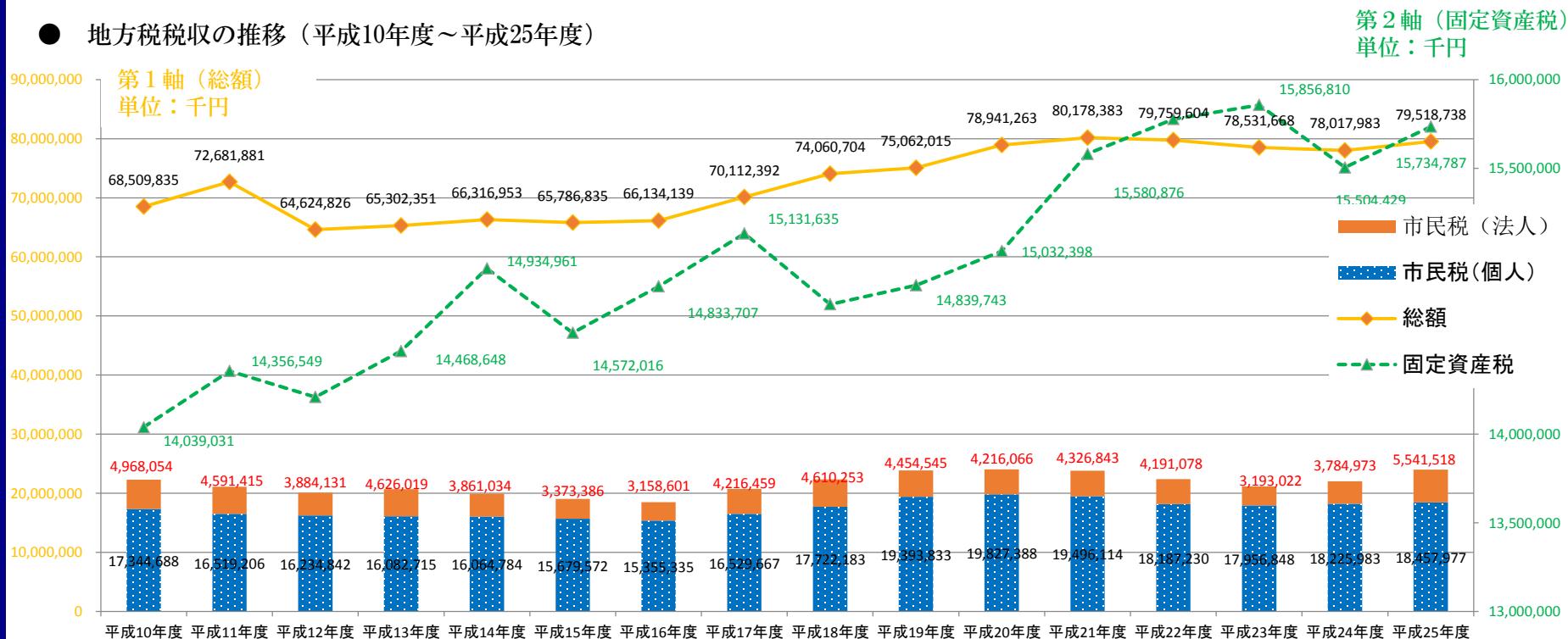
(出典)総務省「住宅・土地統計調査」

# 財政

---

# 28. 地方税収の推移と社会保障費の状況

## ● 地方税収の推移（平成10年度～平成25年度）



## ● 歳出予算に占める民生費比率の推移（平成10年度～平成25年度）

・平成14年度以降、歳出予算に占める民生費の割合は増加し続けています。

